

府中市長 高野律雄様

### 市職員の自衛隊研修についての質問

今年度から自衛隊入隊体験研修が予算化され、すでに航空自衛隊府中基地において、入庁3年目の市職員全員対象（事務職、技術職、保育士職）に、6月1日から2泊3日で実施されたとのことでした。

都内では自衛隊施設で集団研修を行った自治体はなく府中市が初めてであり、報道では「規律に厳しい自衛隊の訓練を通じて、ゆとり世代があまり経験していない上下関係を学び、チームワークや積極性などの向上につなげたい」と市職員課が述べたということです。

職員の研修は必要な範囲で、住民への奉仕者としての任務を果たす目的で市が企画し実施していると理解しておりますが、自衛隊という組織内で行なう必要性があるかについては、報道などで知る限り、その意義や目的に疑問を持ちました。

言うまでもないことですが、自衛隊とは「我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つため、我が国を防衛することを主たる任務」としている組織です（自衛隊法）。昨年自衛隊法は改正され、海外での任務が追加されたことは記憶に新しいところです。災害救助を国は役割りのひとつとして喧伝していますが、本務ではありません。もとより地方公務員に求められる資質、任務とは異なるものです。

また、この研修は公金支出であることから、使途、支出額についても市民に対し、説明責任が求められます。

以上のような理由から、まず、このたびの研修についての見解を伺います。

- ① 目的達成のためには、研修先は自衛隊でなくてはならなかったのでしょうか。
- ② 職員は事務職、技術職、保育士職など、求められる職務内容が異なりますが、一括して行なう意義についてうかがいます。
- ③ 災害時の訓練も必要であったということですが、おこなった内容を教えてください。
- ④ 「ゆとり世代」が規律、上下関係を学んでいないとは、どういう状況を指しますか。
- ⑤ 結果についての説明が求められると考えます。どのような結果が得られましたか。
- ⑥ 目的や意義については、市の公金支出による職員研修全体から是非を判断すべき事項だと考えます。今後は、研修全体を市民に公表する考えはありませんか。

以上、近日中に文書によるご回答を求めます。

2016年6月22日

府中・生活者ネットワーク 代表 重田益美